

次年度の活動に向けて

- "荒川五・六丁目防災まちづくりの会"は、「安全で安心して住み続けられる災害に強いまち」を目指して、地域住民や荒川区とともに、「道づくり」「広場づくり」「住まいづくり」の3本柱を基に防災まちづくり活動を進めてきました。
- 令和2年度は、区が進めている防災まちづくり事業（密集事業、地区計画等）について、住民の目線からその必要性和事業効果を再確認し、地域への普及啓発を目指します。
- そのために、被災からの復興を進めている地元の皆さん方から復興まちづくりの教訓を学び、荒川五・六丁目地区で進めている防災まちづくり事業の重要性を話し合うことなど、今後、検討を進めます。

不燃化特区事業の活用は現在のところ、令和2年度(令和3年3月末)まで

① 「不燃化建築物への建替えに伴う費用を助成」

【助成内容】 除却費用は全額助成します。

- ・上限金額：2万6千円 / m² ・延べ面積：1,000 m²まで
- 不燃化建築物の設計費及び工事監理費の一部を助成します。

【助成要件】 築15年以上経過した木造の建築物を除却
準耐火建築物または耐火建築物への建替え

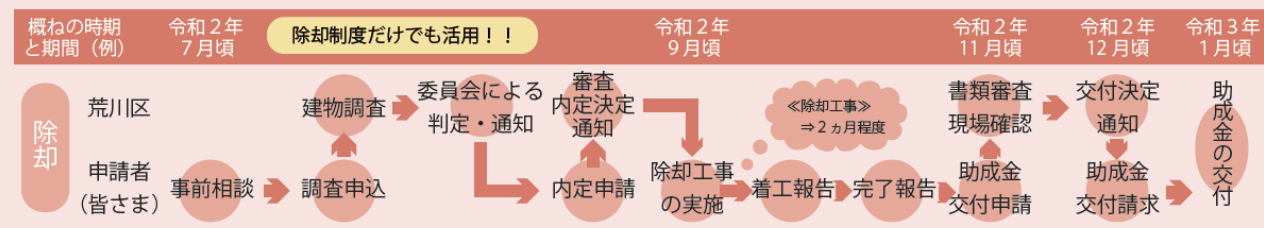
「建替え助成」、「寄付除却」を検討されている方は特にお急ぎ下さい！

② 「危険老朽建築物の除却費用を助成」

【助成内容】 除却費用は全額助成します。

- ・上限金額：2万6千円 / m² ・延べ面積：1,000 m²まで

【助成要件】 昭和56年5月31日以前に建築された建築物
区が危険と判定した建築物



③ 「危険老朽木造住宅を区が寄付を受けて除却」

【助成内容】 区が危険老朽木造建築物の寄付を受け除却工事を実施します。

【助成要件】 昭和56年5月31日以前に建築された木造建築物で居住を目的として建築又は使用されたもの
区が危険と判定した建築物

お問い合わせ先

荒川区 防災都市づくり部 防災街づくり推進課 防災街づくり係 (区役所北庁舎2階⑭窓口)
電話：03-3802-3111 (内線 2828) / FAX：03-3802-4104
担当：青天目 (なばため)、伊藤



令和元年度の取り組み報告

「荒川五・六丁目防災まちづくりの会」は「安全で安心して住み続けられる災害に強いまち」を目指し、活動を行っています。

今年度は、防災まちづくりへ積極的に取り組んでいる他の団体の方々と意見交換を行い、今後の防災まちづくりを考えることをテーマとして活動を進めました。10月には「防災まちづくり交流会」と称した交流イベントが開催でき、活発な意見交換をするなど、会場は大いに盛り上がりました。

第1回まちづくりの会
(令和元年6月28日)

今年度の取り組みである「防災まちづくり交流会」の企画と準備を行いました。

第2回まちづくりの会
～防災まちづくり交流会～
(令和元年10月31日)

「元板橋区防災まちづくりの会」と「国分寺市高木町自治会」の皆さんと、防災まちづくりをテーマに、テレビ画面を通じて意見交換をしました。



テレビ画面を通じて交流先と意見交換する荒川五・六丁目防災まちづくりの会

第3回まちづくりの会

防災まちづくり交流会で話し合ったことのまとめや来年度の活動予定について協議する予定でありましたが、新型コロナウイルス感染拡大の防止等が報じられたことから開催を中止としました。その代わりに各会員から防災まちづくり交流会に対する意見を頂き、今年度のまとめとしました。

➔ 防災まちづくり交流会のまとめと結果報告については、P2～P3をご覧ください。



防災まちづくり交流会を開催！！

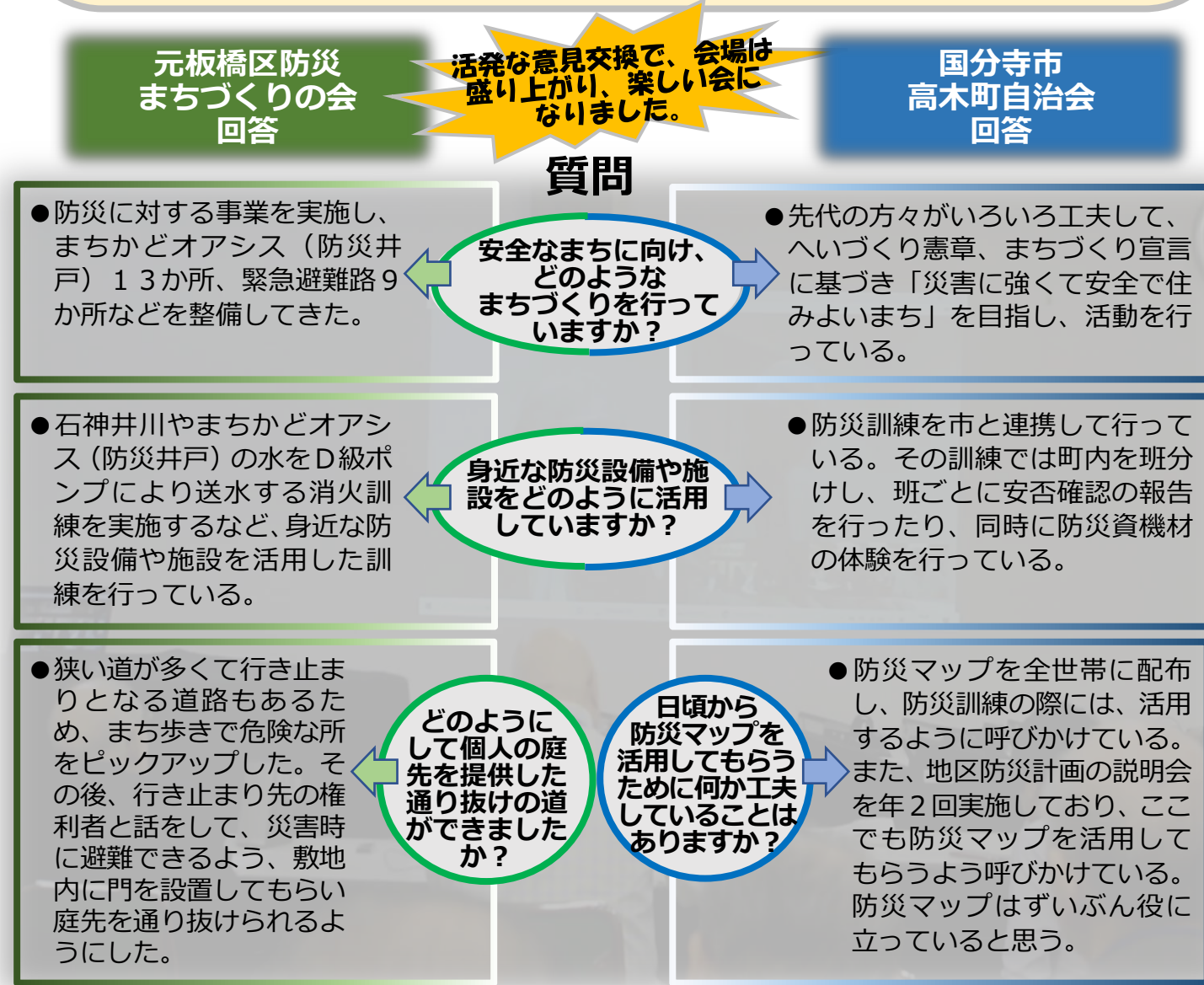


「元板橋区防災まちづくりの会」 との交流のまとめ

- 板橋区は、災害に弱い街という面では荒川区と似ている。防災まちづくりの事業は終わったが、まちかどオアシスや緊急避難路など貴重な結果を残している。そして、その後も、自主的な活動を続けてきたのだから、我々の先輩である。
- 狭い道路が多い荒川区と共通の課題をもった板橋区において、通り抜け道路ができたことはたいへん参考になった。土地に余裕がない中でよく考えられている。
- 荒川五・六丁目は、田んぼの畦に沿ってあった道沿いに家が建ったので、狭く曲がりくねった道路が多く残っており、行き止まり道路もある。昔、住民が浅草あたりに遊びに行くと夕方帰ってくると、道が迷路のようなので迷ってしまったという。地元に住んでいる人でさえそうなのだから、外から来た人はなおさらだろう。板橋区もよく似ているところのようだ。だから行き止まり道路が多いのだと思う。通り抜けできるようにしたのは地元の方の熱意だと思う。

防災まちづくり交流会（10/31）

■防災まちづくりに自主的に取り組んでいる「元板橋区防災まちづくりの会」、「国分寺市高木町自治会」とテレビ画面を通して交流を深めました！！



「国分寺市高木町自治会」 との交流のまとめ

- 国分寺市は、昔からまちづくりの流れがあり、それを今の時代に合うように応用して進めているのが参考になった。
- 国分寺市も狭い道路があるようだ。昔と今では地主の考えも違い、今の方がますます道路を広げることは難しくなっていると思う。道路は広げられなくても、防災マップで地域事情の周知を図り、災害時の訓練を常に行うなど、活発な活動を続けている様子が強く印象に残った。
- 隣近所のつきあいがだんだんなくなっている。時代の流れだと思うが、そんな中、堀づくりで隣り同士の挨拶をきっかけにまちづくりにまで広げるなど、国分寺市のやり方はたいへん賢いやり方だと思う。住民でなければできない、住民ならではのやり方だ。
- 新しい人が町会や自治会活動に参加することが少なくなっている。大人から子どもまでたくさんの方が参加する訓練やイベントを見て、これなら若い人も活動に参加できると思った。

感想

- いつも同じメンバーで話してきたが、今回は立地や環境が違う団体の皆さんと話ができて良かった。
- 参加いただいた団体はそれぞれのまちに特徴があり、その上で工夫して活動していることがよく分かった。
- 内容が適切にまとまっていて、説明がわかりやすかった。いろいろな場で経験を積まれているのだろうと思った。

お礼の言葉

板橋区、国分寺市の皆さんと楽しく意見交換ができ、多くを学ぶことができました。また、皆さんが元気に活動を続けていることが、私たちにも大きな励みになりました。大変、ありがとうございました。



弥生町南町
会長 河野雅行様

元板橋区
防災まちづくりの会
会長 丸山茂様



国分寺市高木町自治会
会長 張堂聡文様

防災部長
湯上武司様